

校内職員研修会を振り返る

平成24年12月11日

学校評価検討委員会

1 目 的

組織的・体系的な生徒指導，学習指導，進路指導の取組を進めることができるよう，職員の共通理解と連携を深めるための研修を行う。

2 日 時

平成24年12月10日（月）午後1時30分から 50分程度

3 場 所

図書館



4 配付資料

ワークシート（個人），ワークシート（グループ）（当日配付）

学校評価アンケート集計結果，自己評価（案）（12月6日に配付）

5 内 容

今年度の学校評価アンケートの集計結果及び自己評価（案）を資料に，話し合いを進める。

- ・研修の概要の説明
- ・最近笑ったこと，おもしろいと感じたこと（記入，自己紹介をかねて発表）
- ・生徒の学校行事に対する取組（記入，発表）
- ・生徒の学校生活状況 課題，解決策（記入，グループ協議，発表）
- ・生徒と職員の結果（感じ方）に大きな開きがあるものについての考察
（記入，グループ協議，発表）
- ・今日の研修についての振り返り（アンケート記入）



7 ワークシートのまとめ

(1) 最近笑ったこと、おもしろいと感じたこと

<省略>

(2) 生徒の学校行事に対する取組についての感想

(『生徒は学校行事に積極的に参加している』の問いに対して、職員がそう思う、ややそう思うと回答した割合をあわせると 70.9%。昨年度と比べると 30.9 ポイント増加したことになる。)

- ・積極的に楽しもうとする姿勢が多くみられる。
- ・生徒が楽しんでいる姿を目にすることが増えた。
- ・生徒が協力して、声を掛け合い、遅くまで残る様子がみられた。
- ・全体的に生徒の取組がよくなった。
- ・以前より前向きに取り組む生徒が増えた。本質的に真面目な生徒が増えた。学校がいろいろな面で落ち着いてきているため。
- ・文化祭や体育祭で、生徒達がいきいきと楽しそうであった。「やらない」「休んでしまう」生徒が減ったから。
- ・行事の日の生徒の欠席数が減っている。楽しそうにしている生徒が多くみられる。
- ・生徒が純粋に楽しみ、協力し合っている。その姿と職員の連携がマッチしている。
- ・以前より行事に積極的に参加している生徒が多くなっている。
- ・普段から、職員の働きかけに素直に反応する生徒が増えた。考えて行動する生徒が増えた。
- ・LHR などの生徒の話し合いの様子。放課後残って活動している生徒の活動。
- ・文化祭、体育祭、修学旅行等の行事に、職員が積極的に参加したから。
- ・文化祭など、昨年度と比べ、生徒の工夫がみられたと思う。
- ・統合クラスが3年生だけとなり、3年生も昨年共に過ごしてきた仲間であるため、全体的に団結力が増した。
- ・とりあえず楽しそうな顔で参加しているから、そのように見えたのでは。
- ・行事の出席率。体育祭でも、やらされている感が減ったように見える。勝敗にこだわるようになった。生徒がさほど感じていないのが問題。
- ・学校にのこっている生徒が多い。
- ・若い職員の数と意識の差。生徒の質が変わった。
- ・職員も大勢異動したから。
- ・統合後の混乱から1年経ち、生徒達が落ち着いて学校生活を送るようになったからではないか。
- ・統合1年目で比較するものがなかった。2年目になって形ができ、イメージしながら企画・運営ができていたため、昨年度よりも評価が高くなった。(5名)
- ・生徒の動きが全体的に向上した。生徒はそれほど変化していない。職員の見方が変化したためか。肯定的になった。
- ・昨年度とあまり変わらない印象。さぼりが少なくなったか。
- ・変化をあまり感じない。
- ・生徒の意識は変わっていないのに、職員だけが生徒は前向きだと思っているのは怖いことでは。教員だけが過去の生徒と比べているのではないか。

(3) 生徒の学校生活状況（授業中のようす、頭髪・服装等）について感じること
みえてくる課題 解決策は

<省略>

学習面について、頭髪・服装面についてさまざまな意見が出された。

(4) 生徒と職員の結果（感じ方）に大きな開きがあるものについての考察

危機管理 p 6, わかりやすい授業 p 7, 生徒理解, 相談体制 p 12, 13, 進路 p 17, 18

<省略>

時間的にグループで十分に話し合うことができず、何名かの意見を聞くことで終わってしまった。

(5) 今日の研修についての感想

- ・いろいろと考えさせられた。
- ・学校評価の職員のまとめを、このような形で行うことはふさわしい。
- ・いつも学校評価に時間をかけて読むことはなかったので、有意義な時間であった。服装や授業態度は比較の問題で、ただよくなっていると感じるだけだったが、職員がチームになって同じ方向性で指導することは大切なのだと感じた。
- ・学校評価のアンケートを詳しく見て、他の先生方の意見を聞けて勉強になった。
- ・勉強になった。まとめというより、意見を出し合うことや聞くことが大切なことと感じる。
- ・改めて、学校をみつめなおすよききっかけとなった。以前よりも学校がよくなったという声が多かったので、今後も力をあわせて指導をしていけばよいのではないかな。私もそれに貢献していきたい。
- ・学校評価について、職員全体で考えることは大切であり、今後の指導に生かさなければいけない。
- ・生徒とは日々向き合って、人としての在り方を語るしかない。
- ・学校の課題に職員が協力して向かっていこうという雰囲気が、また少しできたようでよかった。
- ・毎日の生活の中で、職員間で話をする時間がとれないことは大きな問題。少しでも職員の足並みをそろえるきっかけになればよい。
- ・学校内で指導を統一することが大切だと思った。できるようになってきたことをほめながら次のステップにあげていくことが重要。あきらめずに根気強く指導していきたい。
- ・生徒と先生の関係をつくることが大切。
- ・個別に手をかけてもらわないとだめになる生徒が多い。手をかけていくしかない。
- ・テーマをしぼってもよかったのでは。話の途中でタイムアップとなることもあったので。
- ・職員と生徒の意識のずれが生じていることがわかった。もっと職員間で協力して指導していくことがたくさんあると思うので、自分もがんばりたい。
- ・職員がゆとりをもって「人」を育てていける環境が整うとよい。生徒や職員が悪いとは思わない。しかし、これだけ多様性が進んだ社会で、誰もが高校に、普通科に進まなければならないのか。異なるものを一つでくくろうとすると、うまくいかないように思う。
- ・本校では、一人の職員では対処しにくい問題が多くなっているように思う。担任の負担が改善されるとよい。
- ・自分と異なる視点の意見が参考になった。

- ・ベテランの先生方の話が聞けてよかった。本来ならば、もっと私的な話をする機会がもてればよいが、なかなかできない。生徒と職員の評価にずれがあり、評価基準にずれがあるというのは正しい。評価基準を修正するために、日々の指導があるものと考えさせられた。
- ・当たり前のことだが、生徒に対するとらえ方が職員によってずいぶん違うことを知った。共通理解というものは、言うは易く行うは難しだということもわかった。
- ・昨年度から、この学校の生徒がどう変わってきたのか、また、どのようなところを変えていかなければならないのか、改めて考えさせられた。今後の指導方法を自分なりに工夫していきたい。
- ・日々の学校、生徒の様子を振り返る作業をとおして、その原因、課題を意見し、聞くことは貴重なことだと思う。学校評価アンケートの生徒の意見を、「なぜ？」ととらえ、考え、解決しようとする姿勢が大切であり、「仕方ない」と言うようでは、学校、職員として何も進歩がないと感じる。真剣に考える職員がいっぱいの学校になることを強く願う。
- ・生徒についても職員の意識についても、考えていかなければならないことがたくさんあるのだと実感した。なかなか解決策が見つからないものばかりだと思うが、あきらめずに考え続け、さらによい学校にできたらよいと想った。がんばるつもりである。
- ・この資料について、生徒に示して、生徒の意見ないし、反省を求めたらどうか。もっと生徒自身に考えさせる機会を設けてみたらどうか。
- ・生徒達の現在の状態を、違う角度から考えられる機会であった。
- ・生徒の常識とのずれを感じるこのごろ。ますます広がるばかりなり。
- ・共通理解だけでなく共通行動が重要。職員が目先のことに追われ、このようなことを雑談の中で話す時間がない。形式的とは言わないが、あまり実りがあるとは言えない。
- ・忙しい中でしか時間をとれなかったと思うが、気になる項目もあったので、時間があるときにもっと充実した形で行いたかった。学校評価は、生徒、保護者の生の声だと思うので、この結果をしっかりと受け止めていきたい。
- ・生徒について考える時間となり、よかった。今後、何をしていけばよいかがみえない。もう少し話す時間があればよかった。
- ・50分間でこれだけのことを考えていくのは難しい。ポイントをしばって行った方が、より内容が深まると思う。いずれも大切な問題なので、余計にそう感じる。
- ・大事な問題なので、じっくり考えたり話し合ったりしたいが、それでは時間が足りず、かといって、この時期の研修に時間をとられるのもつらくて、なかなかうまくいかない。司会の先生方には、ずいぶん配慮していただいた研修会だった。
- ・普段から職員同士が学校について、生徒について話して共通理解、問題解決していれば、研修会も必要なくなると思う。
- ・必要ない。